

2次評価の平成29年度予算案への反映状況

No.	事業名 (予算事業名) 担当課 / 事業概要	1次評価(担当課自己評価)及び 改善内容・現行どおりとする理由		2次評価結果及び 概要等		平成29年度予算措置等	当初予算額(単位:千円)					
							平成29年度		平成28年度		増減	
							一般 財源		一般 財源		一般 財源	
1	事業No.063 地域型市民協働事業交付金 (協働のまちづくり費) 地域振興・文化課 事業概要 協働のまちづくりを推進するため、市との協働事業(32事業)、地域振興事業(地域振興会が自主的に取り組む事業)の実施及び地域振興会の運営に対し、交付金を交付する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	A	現行どおり 事業を進めることが適当	本交付金については従前のとおりとし、射水市協働のまちづくり推進条例に基づき施策を実施する。	118,271		123,067		4,796	
		今後の方向性「拡充」 市が実施している事業で地域振興会が実施した方が市民ニーズよりの確に対応できる事業については、地域振興会への移管に伴い、交付金を拡充していく。		本事業は地域ニーズ・地域特性に応じた効果的なまちづくりを推進する重要な事業である。将来ビジョンをもって地域が主体的に独自で事業に取り組み、NPO法人や地域企業等とも連携した地域総参加型まちづくりの体制となるよう、現状の課題を検証すること。			118,271		123,067		4,796	
2	事業No.104 総合防災訓練費 (総合防災訓練費) 総務課 事業概要 災害発生時における迅速かつ確かな災害対応や日頃からの防災意識の高揚を図るため、市、防災関係機関、地域住民等が参加する総合防災訓練を実施する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	B	事業の一部に見直しが必要	企画段階から地域振興会等と協議し、訓練計画を立案する。 また、新たに整備したデジタル防災行政無線システムを活用し、市全域を対象とした情報伝達訓練等の導入を検討していく。	773		774		1	
		今後の方向性「拡充」 訓練終了後、次年度の訓練に反映させるため、訓練参加者から反省点や改善すべき内容等を聞きとり、随時見直しを図っている。また、平成27年度から、より実践的かつ実効性のある訓練を実施するため、地域住民が避難方法を学ぶための事前ワークショップや平成28年度においてはドクターヘリとの連携訓練も実施するなど、今後更に市総合防災訓練を強化していく。		引き続き地域特性に応じた訓練となるよう、計画段階から地域振興会等と協議しながら進めること。 また、災害時には市災害対策本部と市民等との間において、正確な情報の収集・伝達が非常に重要であることから、一部の訓練については全市域を対象とした訓練の実施を検討すること。			773		774		1	
3	事業No.255 母親クラブ連絡協議会活動補助金 (子ども・子育て支援推進費) 子育て支援課 事業概要 母親としての資質の向上を通じて、児童の健全育成や地域の児童福祉の向上を図るため、同連絡協議会が実施する児童の事故や非行の防止のための奉仕活動、親子の交流活動、家庭養育に関する研修活動等に対して、補助金を交付する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	B	事業の一部に見直しが必要	母親クラブ連絡協議会と児童クラブ連合会の共同活動・連携について平成29年度中に課題を整理し、統合に向けて円滑に合意形成が図られるよう両団体の協議を支援していく。	3,000		3,104		104	
		今後の方向性「現行どおり」 児童が健全に育成されるには母親が健全でなくてはならず、そのためにも母親の福祉向上を目標に現行どおりの活動補助を行う。		目的が類似している児童クラブ連合会等との共同活動・連携を促すとともに、母親クラブ連絡協議会の成果が地域振興会、PTA等と共有されるよう働きかけること。			3,000		3,104		104	
4	事業No.329 収集指定袋取扱費 (収集指定袋取扱費) 環境課 事業概要 一般廃棄物の減量化と排出量に応じた処理費用の負担を求めため、家庭から排出される可燃ごみについて、有料収集指定袋制度を運用することにより適正に処理する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	A	現行どおり 事業を進めることが適当	従前のとおりとする。	41,935		38,022		3,913	
		今後の方向性「やり方改善」 指定袋の取扱店と事務内容について適宜見直しを行う。		ごみの減量化・適正処理の更なる推進のため、引き続き啓発活動に努めるとともに、事業コストの削減や適正な受益者負担の在り方に留意しながら、本事業を実施すること。			0		0		0	

平成29年度から母親クラブ連絡協議会補助金と児童クラブ連合会補助金を1本化した。(なお、表中の平成28年度当初予算額は、両会の補助金の合計額)

母親クラブ: 2,021
児童クラブ: 1,083

No.	事業名 (予算事業名) 担当課 / 事業概要	1次評価(担当課自己評価)及び 改善内容・現行どおりとする理由		2次評価結果及び 概要等		平成29年度予算措置等	当初予算額(単位:千円)					
							平成29年度		平成28年度		増減	
							一般 財源		一般 財源		一般 財源	
5	事業No.367 園芸指導強化事業等補助金 (農業振興推進費) 農林水産課 事業概要 農業の複合化による経営基盤の強化に資する園芸作の技術指導や普及のため、営農指導員の資質向上に資する研修や指導員による技術指導の実施に対し、補助金を交付する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直しが必要	個人農家、営農組合等の経営体への園芸指導を継続しつつ、販売戦略につながる地産地消を強化する見直しを図った。	3,000	2,421	3,000	2,421	0	0
		今後の方向性「現行どおり」 TPPの影響を勘案した場合、これまで以上に経営基盤の強化を図ることが重要となる。そのため園芸作の産地拡大や主産作経営体への複合経営の推奨など、地域農業の継続・発展のために有効である。		明確な事業目標及び根拠に基づき補助金額を積算するとともに、園芸作の更なる普及拡大につながるよう、本事業の主眼を生産技術指導から販売戦略に振り替えるなど、制度の見直しを検討すること。								
6	事業No.471 魚職人育成アカデミー事業補助金 (商工業振興費) 商工企業立地課 事業概要 地場食材を生かした新鮮な魚料理を提供できる料理人(「魚職人」)を育成することで、後継者不足等により減少傾向にある飲食店及び魚職人の増加につなげ、地場産業の活力向上を図るため、魚職人を目指して市内の飲食店で修業している者への奨励金及びその指導を行う飲食店経営者への補助金を交付する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	C	事業の抜本的な見直しが必要	平成28年度をもって事業を廃止する。引き続き「食彩しんみなと」の開催を支援することにより、新鮮な魚食材のPRを行う。			1,200	1,200	1,200	1,200
		今後の方向性「やり方改善」 同様の目的で開業した「すし塾」は、現在、研修生の指導を行っておらず、事業移管は難しい。現段階では、引き続き、すし店舗等の協力を得て事業を実施することが現実的であるが、志望する者がいないなどの問題点があり、今後の事業展開については、事業者と協議が必要である。		受講者の応募の見込みがなく、事業継続が困難であることを踏まえ、当面は、新鮮な魚食材のPR及びブランド力の強化に重点を置いた事業を継続するとともに、引き続き若い世代が市内で開業を希望する機運の醸成に努めること。								
7	事業No.529 地域ぐるみ除排雪促進費 (地域ぐるみ除排雪促進費) 道路・河川管理課 事業概要 冬期間の生活道路の円滑な交通の確保のため、地域が主体となり、地域ぐるみで取り組んでいる除排雪活動で使用する除雪機械を貸与する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	A	現行どおり 事業を進めることが適当	平成29年度から、除雪機械オペレーターの安全対策と担い手確保を目的に、市主催の「小型車両系建設機械特別教育講習会」を開催する。	10,922	7,622	10,521	7,221	401	401
		今後の方向性「現行どおり」 地域ぐるみ除排雪による対象路線の有無やオペレーター確保などの諸条件もあり、実施地区の新規拡大は鈍化傾向にあるが、既に実施している地区の除雪機械の更新は必要となることから、購入台数を検討しながら、引き続き事業を実施する。		地域が主体となった除排雪活動が継続されるよう、新規オペレーターの育成を含めた技能習得講習の開催を検討すること。 また、より効果的な運用等が図られるよう、計画的な機械貸与について検討すること。								
8	事業No.554 公園維持管理費 (公園維持管理費) 都市計画課 事業概要 市民の憩いの場である公園の安全で快適な環境の確保及び災害時における防災機能の向上を図るため、公園の維持管理及び公園内施設の点検整備を実施する。	B	事業の一部に見直しが必要	B	事業の一部に見直しが必要	維持管理経費の抑制に向けた取組を継続するとともに、新たな財源の確保についても検討すること。	173,152	119,502	112,341	103,341	60,811	16,161
		今後の方向性「民間活用」 少子高齢化等による社会情勢の変化に伴い、多様化するニーズに対応すると共に、幅広い年齢層の利用者の交流の場及び憩いの場として、安全性の確保と快適な環境、並びに防災機能としても今後ともより一層向上させていくために、市民協働事業の推進や指定管理者制度なども視野に入れて検討していきたい。		維持管理経費の抑制に向けた取組を継続するとともに、新たな財源の確保についても検討すること。								

No.	事業名 (予算事業名) 担当課/事業概要	1次評価(担当課自己評価)及び 改善内容・現行どおりとする理由		2次評価結果及び 概要等		平成29年度予算措置等	当初予算額(単位:千円)					
							平成29年度		平成28年度		増減	
							一般 財源		一般 財源		一般 財源	
9	事業No.580 消火栓整備事業費 (消火栓整備事業費) 消防本部総務課 事業概要 市民の生命・身体・財産を火災から守るため、消防水利の不足懸念のある地区に対する消火栓を整備する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	A	現行どおり 事業を進めることが適当	従前のとおりとする。	15,500		15,500		0	
		今後の方向性「現行どおり」 消火栓の整備については、消火活動に有効な水利確保に向け計画的に整備を図っていく事業である。		災害に強いまちづくりを進める上で必要な事業である。 引き続き優先度・重要度等を踏まえ、計画的に新設・更新を進めること。			1,000		1,000		0	
10	事業No.649 婦人会活動補助金 (社会教育管理費) 生涯学習・スポーツ課 事業概要 女性の社会参加の促進や女性の視点による社会活動を推進するため、射水市婦人会が実施する交流活動、研修会、環境保全・家庭教育に関する活動や会報誌の発行等の事業に対し、補助金を交付する。	A	現行どおり 事業を進めることが適当	B	事業の一部に見直しが必要	会費負担の見直しによる自主財源の確保を促し、平成29年度から補助金の減額を図った。 また、組織力強化に向け、地域振興会女性部等との連携について側面支援を行っている。	655		855		200	
		今後の方向性「現行どおり」 女性の声を行政に届ける意味や女性の力を発揮する意味においても貴重な団体であり、引き続き補助することが適切である。		組織力の低下が著しいことから、地域振興会の女性部等との連携について側面支援を行うこと。 また、事業費に対する補助金の割合が高いことから、会費負担の見直しを促すこと。			655		855		200	
合 計							367,208	253,244	308,384	242,983	58,824	10,261